



写真イメージです

イネ科雑草から広葉雑草まで 幅広い草種に 効果があります。



®：登録商標

- イネ科雑草から広葉雑草まで、畑地一年生雑草全般に対して安定した効果を長期間にわたって発揮する、土壌処理型除草剤です。

イネ科雑草

広葉雑草



ノビエ



メヒシバ



イヌタデ



スベリヒユ



スズメノカタビラ



エノコログサ



シロザ



ナズナ

特長



畑作用除草剤

カイトック[®] 乳剤

幅広い 殺草スペクトラム

作用性の異なる二つの有効成分の混合で、一年生イネ科雑草から広葉雑草まで、幅広い草種に安定した効果を示します。

確実な 除草効果

土壌の種類、温度、日照などの環境条件に左右されにくい薬剤です。

長い 持続効果

土壌表面に安定した薬剤処理層を形成し、抑草効果が40~60日間持続します。

有効成分 ベンディメタリン.....15.0%
リニュロン.....10.0%

安全性 普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)

適用雑草と使用方法

<2021年1月現在の登録内容>

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ベンディメタリンを含む農薬の総使用回数	リニュロンを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量					
小麦(秋播)	一年生雑草	は種直後~は種後5日(雑草発生前)	砂壤土~埴土	300~400mℓ /10a	70~100ℓ /10a	1回	全面土壌散布	北海道	1回	1回
小麦		は種直後(雑草発生前)		400~600mℓ /10a				東北、北陸		
大麦				500~800mℓ /10a				関東・東山・東海、近畿・中国・四国、九州		
とうもろこし 飼料用とうもろこし				は種直後~は種後5日(雑草発生前)				400~500mℓ /10a		
やまのいも		は種直後(雑草発生前)	400~600mℓ /10a	北海道						
	植付後~萌芽前(雑草発生前)	100ℓ/10a	全域(北海道を除く)							
にんじん	は種直後(雑草発生前)	300~500mℓ /10a	全土壌	70~100ℓ /10a	全域	2回以内(粒剤は1回以内)	2回以内(は種直後は1回以内、にんじん3~5葉期は1回以内)			

カイトック乳剤の殺草スペクトラム

雑草名	イネ科雑草						広葉雑草																	
	ノヒエ	メヒシバ	オヒシバ	エノコログサ	スズメノテッポウ	スズメノカタビラ	カヤツリグサ	イヌタテ	アカザ	シロザ	イヌビユ	スベリヒユ	ハコベ	ノミノフスマ	コシキソウ	ナスナ	タネツケバナ	スカシタゴボウ	ホトケノザ	オオイヌノフグリ	ヒメジョオン	ノボロギク	ツユクサ	
成分および薬剤名																								
ベンディメタリン	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
リニュロン	○	◎	○	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
カイトック乳剤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎: 極大
○: 大
△: 中
×: 小

スズメノテッポウやキク科雑草の多発圃場では、使用基準の範囲内で多めの薬量を使用すると、より確実な効果が期待できます。

注意事項

- 衣服などに付着すると着色するので取扱いに注意してください。
- 雑草の発生前~発芽時に有効ですが、雑草の生育が進むと効果が低下するので、使用時期を失しないように散布してください。
- 砂質土壌の保水力の小さい畑では使用しないでください。また、雨が多量に降り続く時や冠水、浸水しやすい畑では被害の恐れがあるので使用を避けてください。
- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣るので、希釈水量を多めにするか、降雨後に散布してください。
- 碎土、整地は丁寧に行い、覆土は種子が露出しないようにできるだけ丁寧に行ってください。
- 激しい降雨が予想される場合には、使用を避けてください。
- マルチ栽培、トンネル栽培等での使用は薬害を生じる恐れがあるので避けてください。
- とうもろこしに使用する場合、スーパースイート系では薬害を生じることがあるので使用を避けてください。
- 水田裏作の麦に使用する場合、排水不良の畑では使用を避けてください。
- 自動車などの塗装面に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の担当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の担当を受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布液調製時及び散布の際は保護眼鏡、農業用マスク、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないでください。
- 夏期高温時の使用を避けてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO

日本農薬株式会社

東京都中央区 京橋1丁目 19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/

2023年6月作成版(Z)BS12306S